

金は、沖縄電力の大型鉄塔は徵収、村条例上、財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例に基づき、村民への電力の供給、電信電話の利用サービス等に公共性、公益性を考慮し、現在占用料金の徴収はしておりません。

コーディネーター制度の導入について

会議より第103号
議会だより

質 當山君子
農業づくりに創意工夫をより専門的に幅広い見地から、それぞれの分野に主要政策課題を提起、立案するコーディネーター制度はできないか。

答 村長（志喜屋文康）
農業、福祉、スポーツという分野で担当課長から答弁させたい。

農業部門は、専門アドバイザーの指導体制のもと農業振興が十分図られている。専門的知

識のある方に指導を仰いだり、企画、まとめ役などその方々がコーディネーターの役割を果たしている。現時点、コーディネーターについて協議はございません。

恩納村農村振興基本計画について

会議より第103号
議会だより

質 當山君子
農業振興を図るため、村全体及び各地域の望ましい将来像の実現に向けて実施されますが、その後の進捗状況は。

答 農林水産課長（大城哲夫）
基本計画の方針のもとドラセナ類の拠点産地、農道整備、烟かん事業の実施計画、耕土流出事業、ハーベスター、平張施設の導入、農業研修の実施等あります。

答 農林水産課長（大城哲夫）
農業振興を図るため、村全体及び各地域の望ましい将来像の実現に向けて実施されますが、その後の進捗状況は。

答 農林水産課長（大城哲夫）
基本計画の方針のもとドラセナ類の拠点産地、農道整備、烟かん事業の実施計画、耕土流出事業、ハーベスター、平張施設の導入、農業研修の実施等あります。

答 農林水産課長（大城哲夫）
農業振興を図るため、村全体及び各地域の望ましい将来像の実現に向けて実施されますが、その後の進捗状況は。

答 農林水産課長（大城哲夫）
基本計画の方針のもとドラセナ類の拠点産地、農道整備、烟かん事業の実施計画、耕土流出事業、ハーベスター、平張施設の導入、農業研修の実施等あります。

答 農林水産課長（大城哲夫）
農業振興を図るため、村全体及び各地域の望ましい将来像の実現に向けて実施されますが、その後の進捗状況は。

地上デジタル放送対策について

会議より第103号
議会だより

質 長嶺律夫
2011年地上デジタル放送に全面移行される、受信障害の調査どういう状況だったのか。

質 長嶺律夫
企画課長（佐渡山安正）
太田区の一部と南恩納の一部が難視聴があるということです。

質 長嶺律夫
企画課長（佐渡山安正）
村内の中央に中継局の設置要請できないか。

質 長嶺律夫
企画課長（佐渡山安正）
が難視聴があるということです。

質 長嶺律夫
企画課長（佐渡山安正）
村内の中央に中継局の設置要請できないか。

質 長嶺律夫
企画課長（佐渡山安正）
が難視聴があるということです。

生産農家の数はどの程度まで改善されたのか。
農林水産課長（大城哲夫）
特例期間内で見ますと20年21年実績で生産農家2336戸、A5農家95戸、割合40%となっています。

防除作業が追加されました共同利用組織はどういう形態をとられたのか。活用はされたのか。

農林水産課長（大城哲夫）
20年21年期の調査で生産農家221戸でA5が65戸割合で30%であり順調に減少しています。

組織の形態について関係機関勿論村内であるべきことは当然で2箇所の地区は無線共聴を設置し難視聴の解消を図っていく。

十分詰めて取組んでいきたい。

J A、サトウキビ協議会、県の普及課、区長会等連携を図って

論村内であるべきことは当然で221戸でA5が65戸割合で30%であり順調に減少しています。

JA、サトウキビ協議会、県の普及課、区長会等連携を図って

論村内であるべきことは当然で221戸でA5が65戸割合で30%であり順調に減少しています

議会懇談会

住民に開かれた議会めざして 第2弾

太田区

真栄田区

宇加地区



新しい公民館建設を

太田区民からは、公民館建設や、下水道、保育所の増員、ドクターへり、図書館建設などの要望が出ました。

その中でも公民館は、築38年を越え、以前取り組んで寸前に打ち切られた経緯もあります。議会の力も借り早期に建設できないか、との切実な要望です。

それに対し議会からは、公民館単独では難しいが、含みを持たせた公民館なら基本構想の中で行政が調整中との意見がありました。

それに對し議会からは、公民館では入れないなど、区民生活に支障をきたしています。そのため、区ではステッカーを貼りだし、警告しそれでも移動しない車両は、警察に連絡するなどの取り組みを行なっています。

その中でも真栄田区民から、岬周辺の村道駐車禁止、垂川沿いの農道アスファルト舗装、真栄田原、親田原の灌漑施設、各公民館のバリヤフリー導入、などの要望が出ました。

その中でも、真栄岬周辺の村道では、サトウキビ運搬車が入れないなど、区民生活に支障をきたしています。そのため、区ではステッカーを貼りだし、警告しそれでも移動しない車両は、警察に連絡するなどの取り組みを行なっています。

迷惑駐車をなくして



与久田集落に排水整備を

宇加地区民から、富里原の排水溝整備、村営アパートを当区に新設できないか、与久田集落の排水溝整備、土地改良区の灌漑設備、などの意見がきました。

議会としても、区からの陳情や一般質問で取り上げるなどの対応が出来るかも知れませんと回答されました。



その中でも富里原は、当区と塩屋区にまたがり、区民が混在した振興住宅地で、今後も住宅が増える見込みです。

しかし、富里原の排水は整備されてなく、早く整備をしてほしいとの要望がありました。整備が進んでない理由としては、①地権者の同意が得られない事。

②両区の調整。

両区長が話し合い、組合を作つて進めていけば、村も後押しするのではないかと思います。